

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
③学校と家庭 の課題	家庭等にお ける学習習慣 の定着	学校以外で学習を行う習慣が ない児童生徒が増えており、学 校の授業以外で学習を行うこと に対する指導等が学校・家庭 の共通の課題となっている。	定期的な学習時間の確保に努める。(1日 30分程度)学校から配付されたタブレットを クラブ室で使用できるよう環境整備を実 施。	定期的な学習時間の確保に努める。(1日 30分程度)	放課後における学習習慣を 定着する。	クラブ利用者アンケートにお ける、勉強時間が十分とす る児童の割合(回答5項目の うち、そう思う・ややそう思う・ 普通の合計)	81	%	81	83	03 本年度 の目標値を 達成し、課題 の改善が見 られた 昨年度アンケート結果を共有し、さらなる改善 を呼びかけたことから、目標を達成できた。引き 続き定期的な学習時間の確保に努めていく。
③学校と家庭 の課題	放課後等にお ける多様な体 験活動	人権教室や読み聞かせなど の、児童の体験活動の機会を 引き続き確保する必要がある。	児童の体験活動について地域、団体や市 職員等との連携を図りつつ、体験機会を行 う。(2か月に1～2回程度)	児童の体験活動の実施。(2か月に1～2回 程度)	放課後における多様な体験 活動を行う。	年間当たりの体験活動日数	10	そ の 他	10	10	03 本年度 の目標値を 達成し、課題 の改善が見 られた 昨年度に引き続き、目標としていた10日を達成 できた。また、地域で活動する団体や、学校との 連携、県政出前講座の実施を通して、多様な 体験活動を実施できた。